

世代を超えてスポーツで交流する場

総合クラブに全国組織

日本体協連携強化へ設立総会

47都道府県に広がる

多種目、多世代型の「総合型地域スポーツクラブ」を支援するために日本体育協会が発足させた全国協議会の設立総会が六日、東京・渋谷の岸記念体育会館で行われ、約1000万円の事業予算や役員が承認された。

総合型クラブは子どもから高齢者までがスポーツを通じて交流する場となる。スポーツを取り巻く環境が厳しくなる中、日本体協は各都道府県体協と連携して財政支援やクラブ運営者の海外研修などを実施し、情報交換や交流を進める。文部科

学省によると、ドイツをモデルに国の施策で育成された総合型クラブは最近5年で3倍以上に増え、昨年七月現在、創設準備中も含めて1046市区町村で2768を数える。

全国協議会は、最終的に全国でクラブ数1